

検証の実施方針

- (1) 取組の継続性という観点から、平成20年度の検証に引き続き、“客観的かつ公正な評価手法に基づく評価が実施されているか”、“市民の目線で分かりやすい評価が実施されているか”などの視点を基本として検証を実施します。
- (2) また、検証に当たっての判定基準を設定することにより、各委員の認識の共有化と検証作業の効率化を図ることとします。

検証の手法

- (1) これまでの検証と同様、施策進行管理・評価チェックシート（以下「チェックシート」という。）を用いて、5つのチェックポイント（共通の視点）を設け、チェックポイントごとの判定について「良」、「可」、「要改善」の3段階方式を採用することとします。
- (2) 「良」、「可」、「要改善」の判定については、次のとおり、新たにチェックポイントごとに基準を設けることとします。

[判定基準一覧]

チェックポイント	判定区分		
	良 良好と判断される場合	可 おおむね良好と判断される場合	要改善 改善が必要（市民への説明責任が果たされていない）と判断される場合
各チェックポイント共通	より分かりやすく説明が行われている。 例) 数値などを使った具体的な説明 例) アウトカムの説明 例) 経年的な比較を取り入れた説明	市民が理解できる説明がされている。	市民へ誤ったメッセージを与えるおそれがある。説明が適正にされていないため、市民が理解しにくい。
チェックポイント 目標等の具体性等	具体的な数値を示しながら説明が行われている。	具体例を示しながら説明が行われている。	抽象的な説明に止まっている。
チェックポイント 目標・課題等の関連性	「解決すべき課題」と「施策の目標」との関連性が十分に理解できる。 「施策の概要(取組内容(手段))」によって、「施策の目標」とする状態や水準に到達するということが十分に理解できる。	「解決すべき課題」と「施策の目標」との関連性が理解できる。 「施策の概要(取組内容(手段))」によって、「施策の目標」とする状態や水準に到達することが理解できる。	「解決すべき課題」と「施策の目標」との関連性が理解できない。 「施策の概要(取組内容(手段))」によって、「施策の目標」とする状態や水準に到達することが理解できない。
チェックポイント 成果説明の具体性等	をやりましたというOUTPUT的な説明だけでなく、その結果、どのような成果がもたらされたかというOUTCOME的な説明まで行われている。	OUTCOME的な説明は行われていないが、事業実績や進捗率などを用いて、OUTPUT的な説明が行われている。	何を行ったのかが具体的に理解できない。
チェックポイント 参考指標による説明等	参考指標による説明が行われており、当該施策の成果を説明する上で十分有効なものとなっている。	参考指標による説明が行われている。 参考指標による説明は行われていないものの、具体的な事例等を用いて説明が行われている。	参考指標による説明が行われておらず、具体的な事例等を用いた説明も行われていない。
チェックポイント 参考指標の妥当性	参考指標の設定の考え方や計画値に対する実績値の状況説明等が行われている。 OUTCOME的な参考指標が設定されている。	設定されている参考指標が当該施策の取組と関連している。	設定されている参考指標が当該施策の取組と全く関連性が認められない。 参考指標が設定されていない場合、その理由や背景の説明がないか、説明が不足している。

- (3) 「要改善」と判定した場合は、チェックシートのコメント（改善意見等）欄に、その理由（改善点等）を記入することとします（できる限り、判定結果を明確に示し、所管課へフィードバックしていきます。）。また、「良」、「可」と判定した場合も、評価票の記載内容の改善に向けて、参考となる意見等があれば、コメント（改善意見等）欄に、その内容を記入することとします。
- (4) 評価票全体を通してのコメントは、チェックシートの最下欄の総括的コメント欄に記入することとします。

検証項目とチェックポイント

1 「施策の概要」及び「施策の目標」について

検証項目（1）目標、課題、概要の妥当性及び分かりやすさ

チェックポイント 「施策の目標」、「解決すべき課題」、「施策の概要」は具体的かつ分かりやすいか。

（着眼点1）

[施策の目標]

どんな状態や姿（市民生活、都市機能の向上）をめざすのか、どの水準まで高めるのか、いつまでに終わるのか、事例や「参考指標」などを引用して分かりやすく具体的に記述されているか。

[解決すべき課題]

何が問題・課題となっているか、分かりやすく具体的に記述されているか。

[施策の概要]

施策を構成する事務事業の内容が分かりやすく具体的に記述されているか。

（着眼点2）

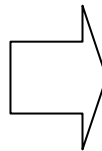
専門用語や難解な言葉については、補足説明や表現の工夫が行われているか（「施策の目標」、「解決すべき課題」、「施策の概要」のいずれかの欄で説明されていれば、可とします。）

（チェックポイント 着眼点1の参考例）

事例1

（要改善）

施策の目標	地球環境にやさしい持続可能な循環型のまちをめざします。
-------	-----------------------------



（良）

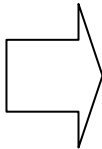
施策の目標	「一般廃棄物処理基本計画」に掲げている「市民一人一日あたりのごみ排出量180g減量」など、ごみの減量・リサイクルを推進し、地球環境にやさしい持続可能な循環型のまちをめざします。
-------	--

[説明] （要改善）の事例は、「地球環境にやさしい」、「持続可能な循環型のまち」がやや抽象的でイメージしにくい表現となっている。これに対して、（良）の事例は、数値目標等を掲げるなど、具体的に説明している。

事例2

（要改善）

施策の目標	音楽によるまちづくりを実現し本市のイメージアップをめざします。
-------	---------------------------------



（可）

施策の目標	ミュージア川崎シンフォニーホールを積極的に活用するなど、市民が優れた音楽・芸術を身近で享受できる機会を確保することにより、これまでの「工業のまちから川崎」から「音楽があふれるまち“かわさき”」へ本市のイメージアップをめざします。
-------	--

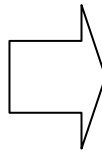
[説明] （要改善）の事例は、「音楽によるまちづくり」によって、どのようにイメージアップを図るのかという説明がなく分かりにくくなっている。これに対して、（可）の事例は、“どのように”の部分具体的に説明している。

(チェックポイント 着眼点2の参考例)

事例3

(要改善)

施策の目標	児童生徒の「確かな学力」の育成をめざします。
-------	------------------------



(可)

施策の目標	児童生徒の学習環境を整備するとともに、指導方法や授業の改善を図ることにより、「確かな学力」(知識や技能に加え、学ぶ意欲や自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、問題を解決する資質や能力)の育成をめざします。
-------	--

[説明] (要改善)の事例は、「確かな学力」の意味について説明がなく分かりにくくなっている。これに対して、(可)の事例は、「確かな学力」の意味について補足説明を行うことで分かりやすくなっている。

(注) 事例は判定区分を分かりやすくするために記載内容を簡略化して創作したものです。

検証項目(1) 目標、課題、概要の妥当性及び分かりやすさ

チェックポイント

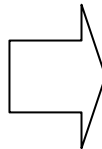
「解決すべき課題」(目標を実現するために解決しなければならない事項)と「施策の目標」(めざすべき方向性)との関連性が分かりやすく記述されているか。「施策の概要」の取組内容(手段)によって、「施策の目標」とする状態や水準に到達することが理解できるように記述されているか。

(チェックポイント 参考例)

事例4

(要改善)

解決すべき課題	自動車登録台数の縮減
施策の目標	安全な地域社会の確立



(可)

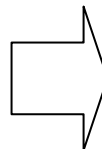
解決すべき課題	交通事故の減少
施策の目標	安全な地域社会の確立

[説明] (要改善)の事例は、「安全な地域社会の確立」という「施策の目標」と「自動車登録台数の縮減」という「解決すべき課題」との間に直接的な関連性がなく分かりにくくなっている。これに対して、(可)の事例は、「安全な地域社会の確立」という「施策の目標」に向けて、「交通事故の減少」が「解決すべき課題」になっており、両者の関連性が理解できる。

事例5

(要改善)

施策の概要	総合コンタクトセンターによる市民相談等に対する的確かつ丁寧な対応
施策の目標	1件当たり相談対応時間の短縮化



(可)

施策の概要	総合コンタクトセンターによる市民相談等に対する的確かつ丁寧な対応
施策の目標	市民の利便性と満足度の向上

[説明] (要改善)の事例は、「施策の概要」に掲げられた「的確かつ丁寧な対応」という取組内容と「施策の目標」に掲げられた「対応時間の短縮化」との間に相反する点があり分かりにくくなっている。これに対して、(可)の事例は、「施策の概要」に掲げられた「的確かつ丁寧な対応」という取組内容と「施策の目標」に掲げられた「市民の利便性と満足度の向上」との関連性が理解できる。

(注) 事例は判定区分を分かりやすくするために記載内容を簡略化して創作したものです。

2 「成果の説明」について

検証項目（2）成果説明の妥当性及び分かりやすさ

チェックポイント 成果説明は施策課題全体を網羅しており、具体的かつ分かりやすいか。

（着眼点1）

「解決すべき課題」、「施策の概要」、「施策の目標」に対して、部分的な説明になっていないか。

（着眼点2）

「施策の目標」に対して、成果（課題解決の程度や見込み）がどうであったか説明されているか。

（着眼点3）

専門用語や難解な言葉については、補足説明や表現の工夫が行われているか。

（別の欄で説明している場合も可とします。）

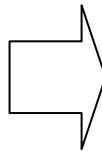
参考例は、「検証項目（1）目標、課題、概要の妥当性及び分かりやすさ」の「チェックポイント 「施策の目標」、「解決すべき課題」、「施策の概要」は具体的かつ分かりやすいか」の事例3に準じます。

（チェックポイント 着眼点1の参考例）

事例6

（要改善）

施策の目標	市民ボランティア及び民間交流団体の増加を図るなど、市民レベルの国際交流活動を活性化します。
当該年度の成果	通訳ボランティアが10人増えました。



（可）

施策の目標	市民ボランティア及び民間交流団体の増加を図るなど、市民レベルの国際交流活動を活性化します。
当該年度の成果	通訳ボランティアが10人増え、民間交流団体は5団体減少しましたが、交流事業は46事業あり、昨年実績を2事業上回りました。

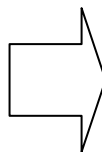
[説明] （要改善）の事例は、「施策の目標」で掲げられた「民間交流団体の増加」について、「当該年度の成果」で説明していない。これに対して、（可）の事例は、「民間交流団体の増加（増減）」についても説明しており、「施策の目標」に掲げられた内容を網羅している。

（チェックポイント 着眼点2の参考例）

事例7

（可）

施策の目標	放置自転車の減少
当該年度の成果	駐輪場を4箇所整備したほか、禁止区域の指定（*箇所）や周知啓蒙活動に取り組みました。



（良）

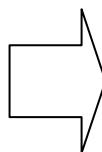
施策の目標	放置自転車の減少
当該年度の成果	駐輪場を4箇所整備したほか、禁止区域の指定や周知啓蒙活動（*箇所）に取り組んだ結果、放置自転車が500台減少しました。

[説明] （可）の事例は、具体的な事例や数値を掲げてOUTPUT的な説明を行っている。（良）の事例は、さらに踏み込んで、取組の結果、どうなったか、OUTCOME的な説明まで行っている。

事例8

（可）

当該年度の成果	認可保育所について、当初目標とした* *箇所の整備（定員1,075人増）を達成しましたが、「保育待機児童の解消」には至りませんでした。
---------	---



（良）

当該年度の成果	認可保育所について、当初目標とした* *箇所の整備（定員1,075人増）を達成しましたが、女性の就労機会の増大や大規模住宅の建設に伴う子育て世帯の流入など、予想を上回る保育ニーズの高まりから、「保育待機児童の解消」には至りませんでした。
---------	--

[説明] （良）の事例は、さらに踏み込んで、「待機児童の解消」に至らなかった理由・背景を説明しており、より分かりやすい。

（注）事例は判定区分を分かりやすくするために記載内容を簡略化して創作したものです。

3 「参考指標」について

検証項目(3) 参考指標の妥当性及び分かりやすさ

チェックポイント 「参考指標」は成果を説明するものとしてふさわしいか。また、具体的かつ分かりやすいか。「参考指標」が設定されていない場合、その理由は妥当か。

(着眼点1)

「参考指標」は、当該施策の主要な取組や「施策の目標」に関連するものとなっているか。

(着眼点2)

「参考指標」が設定されていない場合、市民が理解できるような理由や背景が記述されているか。

(着眼点3)

専門用語や難解な言葉については、補足説明や表現の工夫が行われているか。

(別の欄で説明している場合も可とします。)

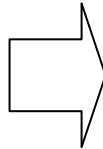
参考例は、「検証項目(1) 目標、課題、概要の妥当性及び分かりやすさ」の「チェックポイント 「施策の目標」、「解決すべき課題」、「施策の概要」は具体的かつ分かりやすいか」の事例3に準じます。

(チェックポイント 着眼点1の参考例)

事例11

(要改善)

施策の目標	市民の生命や健やかな生活を守るため、地域で発生する犯罪や交通事故の防止に向けた安全・安心な地域社会の確立をめざします。
参考指標	消費生活相談件数



(可)

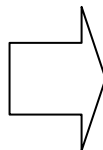
施策の目標	市民の生命や健やかな生活を守るため、地域で発生する犯罪や交通事故の防止に向けた安全・安心な地域社会の確立をめざします。
参考指標	<ul style="list-style-type: none"> ・市内街頭犯罪認知件数 ・市内交通事故発生件数

[説明] (要改善)の事例は、「参考指標」として設定した「消費生活相談件数」が「施策の目標」と直接関連しておらず、分かりにくくなっている。これに対して、(可)の事例は、「参考指標」として設定した「市内街頭犯罪認知件数」、「市内交通事故発生件数」と「施策の目標」との関連性が理解できる。

事例12

(可)

施策の概要	総合コンタクトセンターによる市民相談等に対する的確かつ丁寧な対応
施策の目標	市民の利便性と満足度の向上
参考指標	相談等受付件数



(良)

施策の概要	総合コンタクトセンターによる市民相談等に対する的確かつ丁寧な対応
施策の目標	市民の利便性と満足度の向上
参考指標	<ul style="list-style-type: none"> ・問い合わせ、相談等に対する1次回答率(総合コンタクトセンターで回答が完了した件数の割合) ・電話対応に対する市民満足度

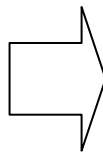
[説明] (可)の事例も「施策の目標」等に関連する「参考指標」を設定しているが、(良)の事例は、さらに進んでOUTCOME的な「参考指標」を設定している。

(チェックポイント 着眼点2の参考例)

事例13

(要改善)

参考指標	[指標の設定ができない理由] 当該施策は、平成23年度以降に実施する等の窓口サービスについて、「実施方針」を策定するもので、定量的な指標の設定になじまないと考えます。
------	--



(可)

参考指標	[指標の設定ができない理由] 当該施策は、平成23年度以降に実施する等の窓口サービスについて、「実施方針」を策定するもので、策定の過程で利用者数や人件費削減効果額等の目標を設定する予定であり、現段階では参考指標の設定を見合わせたいと考えます。
------	--

[説明] (要改善)の事例は、「参考指標」を設定できない具体的な理由や状況の説明がない。これに対して、(可)の事例は、「参考指標」を設定できない具体的な状況の説明を行っている。

事例14

(要改善)

参考指標	[指標の設定ができない理由] 当該施策は、駅周辺地区の整備事業であり、成果等は整備完了後に発現することとなるため、それを指標として表すことは現段階では難しいと考えます。
------	---



(可)

参考指標	「参考指標」として事業進捗率を設定 完成予定 2010年度 事業進捗率 2009年度 80%
------	--

[説明] (要改善)の事例は、「参考指標」を設定できない理由として、成果の発現は整備完了後となることをあげているが、ハード系の施策の場合、事業の進捗率を示すことも可能であり、理由が適切でない。これに対して、(可)の事例は、「参考指標」として事業進捗率を設定する工夫を行っている。

(注) 事例は判定区分を分かりやすくするために記載内容を簡略化して創作したものです。